

# 皆野・長瀬ロータリークラブ

## 週報

◇例会日 第1・第2木曜日 12:30~13:30 第3・第4木曜日のいずれか 18:30~19:30  
 ◇例会場 長瀬レクリエーションホテル 養浩亭  
 ◇事務所 〒369-1305 秩父郡長瀬町長瀬1446 養浩亭内  
 Tel:0494-66-4134 / Fax:0494-66-4134  
 e-mail:minanaga@chichibu.ne.jp  
 ◇点 鐘 畝 徳治会長  
 ◇ソング 奉仕の理想



ロータリーは世界をつなぐ

## 第1486回例会 令和元年9月17日(火)

### 【会長の時間】

畝 徳治

皆さん、こんにちは。合同でのガバナー公式訪問という事で、大勢の方がお集まりという事で緊張しています。

ロータリアンの方の前で話すのは釈迦に説法で、すでに承知していると思いますが、昔の人でもそういう事を考えていた人がいるんだという紹介になりますので、ロータリー活動も肯定的になるのではないかと思います。私は通常の例会で福澤諭吉の文章を抜粋して紹介しています。17編からなる学問のすすめの九編の書き出しを読みます。

人の心身の働きを細かに見れば、これを分かって二様に区別すべし。第一は一人たる身につきての働きなり。第二は人間交際の仲間に入り、その交際の身につきての働きなり。

第一 心身の働きをもって衣食住の安楽を致すもの、これを一人の身につきての働きと言う。然りとはいえども天地間の万物、一として人の便利たらざるものなし。・・・この事を成せばとて、あえて誇るべきにあらず。もとより独立の活計は人間の一大事、「汝の額の汗をもって汝の食(めし)を食(く)らえ」とは古人の教えなれども、余が考えには、この教えの趣旨を達したればとていまだ人たるものの務めを終われりとするに足らず。この教えはわずかに人をして禽獣に劣ることなからしむるのみ。・・・

第二 人の性は群居を好み、けっして独歩孤立するを得ず。夫婦親子にてはいまだこの性情を満足せしむるに足らず、広く他人に交わり、その交わりいよいよ広ければ一身の幸福いよいよ大なるを覚ゆるものにて、すなわちこれ人間交際の起こる所以なり。すでに世間に居てその交際中の一人となれば、またしたがってその義務なかるべからず。およそ世に学問と言ひ、工業と言ひ、政治と言ひ、法律と言ひ、みな人間交際のためにするものにて、人間の交際あらざればいづれも不用のものたるべし。

政府なんの所以をもって法律を設くるや、悪人を防ぎ善人を保護し、もって人間の交際を全からしめんがためなり。学者なんの所以をもって書を著述し、人を教育するや。後進の智見を導きて、もって人間の交際を保たんがためなり 右所論のごとく、古の時代より有力の人物、



心身を勞して世のために事をなす者少なからず。今この人物の心事を思うに、豈衣食住の饒かなるをもってみずから足れりとする者ならんや。人間交際の義務を重んじて、その志すところけだし高遠にあるなり。今の学者はこの人物より文明の遺物を受けて、まさしく進歩の先鋒に立ちたるものなれば、その進むところに極度あるべからず。

学者というのは、学生の事ですが、学生に対して自分の身を保つ。そこだけで満足してはいけないんだと。もっと他人のために役立てなさいと言っているのかなと思います。まさにロータリー精神と重なるのかなと考えております。ポールハリスがロータリーを唱えるよりも以前にこういう事を言っているという事で紹介させて頂きました。

### 【幹事報告】

山田 利明

1. 地区事務所より
    - ①九州北部豪雨災害被災者に対する義捐金のお願い
    - ②世界ポリオデーの案内
  2. 米山記念奨学会よりハイライトよねやま
  3. 秩父地区暴力排除推進大会のお知らせ
- 以上がきています。



## ガバナー卓話

R I 第2570地区

ガバナー 鈴木 秀憲様

皆さん、こんにちは。ご紹介頂きましたように今年度ガバナーを務めさせて頂いております鈴木と申します。よろしくお願い致します。今日はパワーポイントを使ってお話させて頂きます。



その前に秩父ロータリークラブの55周年、大変おめでとうございませう。一世代、二世代、三世代くらいになるのでしょうか。長い伝統とまた新しい事を取り入れながらの組織運営に心から敬意を表します。ただ、申し訳ありませんが、10月12日に以前から用が入っておりま

して、当日出席する事が出来ません。祝意だけ述べさせていただきます。

最初にご承知かと思いますがR I 会長ダニエル・マローニーさん、アメリカのアラバマ州ジケーターロータリークラブ、アメリカの真ん中辺りにアトランタがあります。アトランタからシカゴの方に向けて、地図で言うと、左上100キロくらい行ったところにジケーターという所があります。1955年、昭和30年生まれで25才でロータリーに入会、30才で会長、34才でガバナー、若くて素晴らしい方です。

R I 会長のテーマはロータリーは世界をつなぐ。今年度のテーマロゴの中央の濃い青は地球を表していて、周りのXのような物が人間を表しています。色はいろいろな人種、いろいろな方がある事を表しているそうです。

マローニー会長がおっしゃっている事はいろいろありますが、国際協議会、ガバナーの勉強に行った時に話を聞いた話の内容です。マローニー会長は強調事項という事で4つの話をしています。最初はロータリーを成長させる。簡単に言いますと、もっと会員増強をしましょうという事です。マローニー会長は去年はロータリーにとって一番屈辱的だったと。今まで110数年の中で、退会者の数が一番多かったと。入って頂いたけれども辞めていったと。みんなで辞めないような組織運営をしようという事が言いたいところです。2つ目は、みんなで辞めないようにしていく1つにロータリーの活動と家族の時間を互換させる。ロータリーの活動で家族の方が犠牲にならないようにロータリーの活動を工夫してくださいと。3年ほど前から始まっている柔軟性という事になります。次も柔軟性ですが、忙しいロータリアンもロータリーのリーダーになれるよう自分たちで作った障壁を排除する。ロータリーはこういうものなのか、あまり固まらないように柔軟性を持って、各クラブからリーダーをどんどん出して頂きたいと。4つ目ですが、ロータリーの活動、人道的奉仕、6つの重点項目がありますが、より健康で平和で持続可能な世界に向けた国連のコミットメントと共有しているというような事をおっしゃっています。SDGs、国連が2015年の時に決めまして、全世界で2016年から2030年までの15年間でもっとよりよい環境のものを作りましょうと呼びかけております。自治体でもこれに協賛しており、会社でも随分協賛しています。バッジがあり、付けている会社はすでに協賛されているようです。

ロータリーを通じて私達はつながります。マローニー会長のお話の中で強く感じたところです。そしてロータリーで私達はお互いの違い、人種、宗教の違いを越えて深く意義ある形でつながる事が出来る。ロータリーがなければ、出会いの事がなかった人や支援を必要とする人々とのつながりをもたらしてくれる。私達は全員が属する世界的なコミュニティの人達とつながる。ロータリーの中核にあるものはつながりですという事で、本年度のテーマになっております。

このテーマを頂きまして、私は地区テーマを「つなげる。未来へつなぐ」とさせて頂きました。1つにはつなげる。組織の未来へつなげる。

組織の運営を組織の未来へつなげる。頭にありましたが、ガバナーの選出が早く決まらないという地区でしたので、早期選出をと。私は地区の戦略計画委員の一人として3年前からこれをやりましょうと呼びかけておりますが、行き届いておりません。ガバナーは1年前に選ばれたのでは、うまく運営が出来ない。2年ないし3年前に選んで頂かないと、いろんな事業がスムーズに進まないという事があります。あと1つ未来へつなぐのは、個人の未来につなげて頂きたい。奉仕活動をとという事です。奉仕する事は個人の未来のためになるような形でやっていきたい。書いてから私は失敗したなど。個人の未来のために奉仕活動をしてくださいという意味ではなく、奉仕活動を一生懸命やる事によって、結果として皆様方の未来につながるというように形で申し上げたいという事です。

あと1つ、サブテーマという事で、「変える」という事を入れさせて頂きました。ガバナーになるために1週間缶詰で勉強します。7年前にやらせて頂いたので、R I へ今回はいいでしょうと言ったら、7年も前なので賞味期限が切れているからダメという事でもう1回行って来ました。その7日間の間で、マローニー会長はもちろん、いろんな方が交互にいろいろな事をおっしゃります。英語で分かりませんが、同時通訳で聞いているのですが、チェンジという言葉は何回も出てきました。私を変えろという言葉も地区として頂こうと。あえてかっこして基本に戻るとという言葉も書いておきました。長い間に周囲の状況は変わっております。常に周囲の状況に応じて変化しているものは、進化です。しかし周囲が環境変化しているのに対応出来なかった。どこかで1回くらいは環境変化のために一時的に変化したものの、その後の周囲の変化に対応出来ていない。元に戻るとか世の中にたくさんあると思います。

憎まれ口をきくならば、ロータリーの奉仕活動でも始めた時と今では状況が違うから考えた方がいいのではないとも言わせて頂いております。一度基本に戻る。新たな変化に対応するようにすると。また変化のための変化は不要であると。

地区運営で心がける事として、地区組織としての簡略化です。この10年、残念な事にこの地区は会員数が増えていません。増えていないのですが、役員数は増えています。少しスリムにした方がいいのではないかと、地区に対して憎まれ口ですが、言わせて頂きました。簡略化させてもらってます。2番目が基本に戻るという事で先ほどお話ししたところです。あと1つ私が心がける事は、ロータリーは難しい言葉ばかり使いすぎる。横文字が多いという事で、説明の簡略化に心がけたいと思っております。

クラブをお願いする事と致しまして、クラブ運営に柔軟性を持たせて下さい。意識改革をお願い致します。敢えてかっこで自分で壁を作らない。型にはめ込まない。壁を作るとか型にはめ込む、前例がないなどという事をよく聞きますが、これは後ろ向きだろうと。ぜひ前向きな考えで組織運営をして頂きたいと。また日頃の活動もそのようにお願いしたいという事です。

R I 会長の言葉から地区運営に至るお話をさせて頂いた後で、少し変わります。「ロータリーってなに」という事で一緒に考えて頂ければいいかなと思います。「世間の方はロータリーの事をどう思っておられるでしょう」世間の方は私自身もロータリーの事を分かってないと思います。それが何でだろうという事で、ロータリーはやっている事はたくさんあります。いろいろな奉仕がたくさんあります。1つのクラブでも幾つかの奉仕活動をやっています。地区の50クラブがばらばらでやっていたら、世間の人には分からないのではないかと私は思っていて、話題にさせて頂きました。どうしたら分かって頂けるだろうか。どのクラブでもどのロータリアンでも同じような事を言えば、世間の人に分かってくれるのかな。それとも分からないと言われるのかなと思ひまして、ロータリー共通の内容を説明したらどうでしょうかというのが提案です。ロータリーの共通の内容、あるいはロータリーとして変わらないもの。それは何でしょうという事になると、1番はロータリーの目的です。これは変わってないと思います。定款第5条にロータリーの目的が書いてあります。ロータリーの目的を簡単に説明したらどうだろうというのが提案です。

ロータリーの目的について簡単に説明します。ロータリーの目的は4項目あります。1番目が分かりにくいです。知り合いを広め、奉仕の機会とする。日本語では説明がつかないような言葉ではないかと思っています。2番目ですが、短くしてみました。ロータリアンが各自の仕事を一生懸命やりましょうと。高潔性を持ってと書いてあるかと思っています。3番目は、社会生活において、奉仕の理念を実践するですから、皆様方が常にやってくださっている社会奉仕。4番目が世界的ネットワークを使って国際理解し、親善、平和を推進する。ロータリアンも見なければ、言えない。ロータリアンが言えるように簡単な言葉にしたいというのが私の考えです。

自分自身と自分の職業を磨きながら、地域や国際社会に奉仕する団体ですと。自分自身や自分の職業を磨きながらは第2項目です。地域が第3、国際社会が第4項目。第1項目が抜けておりますので、あなたも参加しませんかというのが分かりやすいかなと。こんな言葉でロータリーを説明して頂ければ、世間の方にも少し理解して頂けるのかなと思っています。

余所のクラブで、自分自身と自分の職業を磨くという言葉が入っていましたので、職業を磨くとはどういう事ですかと聞かれましたので、書かせてもらいました。職業を磨く前にまず自分を磨かなくてはダメだと思っています。それで自分自身としました。自分を磨くという事は、自分の人格を高める事。仕事を磨くという事は、地域の役に立つ仕事をする。高潔性を念頭においてと説明しました。

高潔性とは説明しづらいいと思います。それぞれ高潔性について表現仕方が違うと思います。他のクラブで同じ卓話をした時に教えてもらいました。高潔性を表すのにロータリーにはいい言葉があると。4つのテストがぴったりではないかもしれないけれども、実践すれば、結果と

して高潔性になるのではないかと言われました。その方が分かりやすいという事で、そのように説明しております。仕事を磨くという事です。単に会社を大きくする事や利益を上げる事ではないでしょうと敢えて申し上げさせていただきます。まして上場企業にする事でもないだろうと思っております。地域の役に立つ仕事をして頂くという事を強調したいと思っています。仕事をやるのに上場企業が目的ではないというのが表現としてまずいかなと思っています。仕事を始める。起業したからには上場するという気持ちでやって行かなければ、そのくらの気概でやって頂きたいと思っています。地域社会では皆様方、すでに行っておりますので、地域社会での奉仕をして頂くと。地域社会の奉仕ですが、他の人や他の団体、あるいは自治体の目の届かない、手が届かない所に着目をして頂いたらいかかかなと思っています。けして目立つ社会奉仕をする事ではないと付け加えました。4つ目は国際社会での奉仕という事で、ロータリーの世界ネットワークを活用しての活動。特に人道的奉仕、次世代の育成などがあるかと思っています。

自分自身と自分の職業を磨きながら、職業を磨くというのは、日本のロータリーのベースになっているだろうと思っています。昨今、職業奉仕がややもすると軽んじられているような風潮にあるようです。特に外国では。日本のロータリーは職業奉仕が基本だと私は思っています。そして自分自身と自分の職業を磨きながら地域や国際社会に奉仕する団体です。あなたも参加しませんかと。この話をした後、皆様方が精魂傾けている社会奉仕事業をお話頂ければ、分かって頂けるかなと。こういう考え方の一環としてうちのクラブではこういう事をやっていますと言え、いろんな事があっても分かって頂けると思います。

先ほどのロータリーはロータリアンが思っている事が世間の人に知られていない。だから広報が大切だと。広報ですが、内容が大切だと思っています。ですから「ロータリーってなに」という事に関してしつこく申し上げております。ロータリーの説明をした後での、その一環としてのクラブの社会奉仕等の活動について話して頂ければ、世間の方にも分かって頂けると。ロータリーの目的、それぞれのクラブの奉仕活動の関連性も理解して頂けると思います。

どんなにうまい事を言っても、言っている事よりも人は、その人の行動を見ています。その団体の広報よりも日頃の団体の活動を見ています。広報する場合の留意点としては、個人としては世間の人から黙って見られていると思っています。日頃の言動には注意する必要があるだろうと思っています。窮屈だなど思う事はあるかもしれませんが。それほどではないと思っています。日頃の言動に留意すべき行動規範があると思います。行動規範と言うと、ロータリーでは職業奉仕での行動規範もありますが、今日使わせて頂くのは、我々が日頃活動する時に、ロータリーの何を見たらいいのかなという事です。

ロータリーには5つの中核的価値観というものがあります。1つ目が奉仕です。奉仕と来たら、奉仕と親睦となります。次の多様性と言う

のが理解して頂きにくい。多様性を調べたら仲良くする事とあります。説明致しますと、ロータリーは世界中の国にあります。日本だけは周りが海に囲まれて、1つの国で1つの人種で、方言があっても1つの言語で問題ありません。宗教についても必要な時に必要に応じて適応していると思います。外国に行きますと、1つの国で言葉が違う所もあります。あるいは1つの国の中で宗教が違ったり、今は宗教が元で紛争が起きています。でもロータリーは宗教の違いも乗り越えて、お互いを認めていきましょうというのが多様性という事です。あと1つは高潔性、最後はリーダーシップの5つが我々が気をつけるべき事ではないかと思っています。

あと1つロータリアン自身が広告塔という事で、自分が見られているという事は広告塔ですので、私生活でも生き生きと輝いて活動をお願い致します。自分自身と自分の職業を磨いた上で、地域や広域での業界活動、一生懸命やっていると。あるいは地域の商工会議所、法人会でも労働基準協会でも活躍してください。そして、経済活動以外でも地域の自治会活動、消防団、安全協会などでも活躍して頂きたい。ロータリー以外の地域団体で活躍してください。こういった事を世間の人には見えていますと申し上げます。間違ってもロータリーで忙しいと言って、地域の活動をおろそかにしないで頂きたいと思っております。

クラブで広報する場合ですが、たとえば熊谷では5つのクラブがあります。それぞれが違った事をやっていると、地域の方はよく分かりません。広報の効果を考えるのなら、協調した事業のアピールをしてください。一緒にやったらどうですかという事です。一番分かり易いのはポリオ根絶です。

次に留意して頂きたいのは、見直しをして頂きたいという事です。長年やっている事も見直しをする必要があると思っています。奉仕活動を始めた時と今では社会情勢も変化しています。地域で必要とされているかどうかを考える事が必要です。必要でない事を行っているマスターベーションと言われかねません。

もう1つ他の団体や自治体が行っていない事業。自治体と取り合いになる事業もありますので、見直しが必要だと思っております。ある所で、「ロータリーさんから支援をして頂いておりますが、うちの方もそろそろ辞めたいのですが、ロータリーさんが一生懸命なので、お断り出来ません」と言われたという事もあるようです。ですから見直しが必要です。見直した結果必要なら継続をして頂ければいいという事です。

仕事が大きすぎてお金が掛かりすぎる。地区補助金を考えて頂くのも結構です。他のクラブと共同でやる事も結構です。他の団体とやる事も考えられます。地域にとって必要で、長年に渡って行うべき事があれば、自治体と協力する。もしくは自治体に委譲する、あって然るべきだと思います。どうしても必要で、お金が掛かるのであれば、自治体に提言する事も必要だと思います。何が必要かを考える事がもっと必要かと思っております。

来月24日は世界ポリオデーです。ポリオで

すが、世間の方は分かりません。日本では昔小児麻痺と言っていました。なぜポリオと言うかという、子供だけではないんだそうです。ほとんどは5才未満がかかるけれども、そうでない方もいらっしゃるという事で、小児麻痺という言葉は使いません。先月まではポリオ常在国は3ヶ国でしたが、ナイジェリアが3年間発症がなかったという事で抜けました。今はパキスタンとアフガニスタンの2ヶ国です。ポリオの予防には1回5千円掛かります。1人の子供に最低4回、最近では5回しなくてはいけないのではないかと。外国からたくさんの方が入ってきているので、5回した方がいいのではないかとされています。ポリオの根絶は世界の熱望です。WHO、ユニセフ、ロータリーが特に大きくやっています。

10月24日にR I 第2770地区と当地区が一緒に読売新聞に広告を出します。この日は世界中でポリオデーですので、皆さんも世間へアピールして頂ければと思います。

## ニコニコボックス

♪ガバナー公式訪問、ありがとうございます。  
 敬 徳治・山田 利明・新井 通雄  
 長岡 倉雄・小林 一夫

合計 5,000 円

## 出席率

免除以外の 会員	出席免除 会員	出席	メイク	出席率
11	0	5	1	54.5%

